

いことだと思ふのです。
 早く新しい社會が出来て、藝術家が自分の藝術に生きられるやうになり、また師匠が映画好きのやうに新しいものを樂に見られ、人々を樂しませることの出来るやうな時代になりたいたいものだとはげまされるのです。

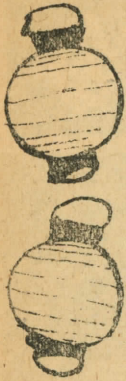
そうした大切なことのために私達は、一面時代の徳性になつても日本の芝居をよくする運動家にならなければならぬと考へるのです。

師匠はいつも私達の仕事と、舞台を、眞面目に見てゐて下さることです。(前座)

素人藝

片山博通

昔は能樂にも義太夫にも或は江戸の淨瑠璃にも澤山の素人名人が出て、玄人にない風格の藝を以て聞えてゐるが、今の素人衆の間からは相當の腕達者さへも出ない。つまり素人の藝といふものが下落して、觀念的に素人・



玄人の別が劃然としてしまつた結果である。元來藝の理想とか、修行の目標に於て、素人の玄人の差別があるべき筈はなく、只その藝によつて衣食住を充足してゐるか否かの職業的な相違であつて、昔は素人でも玄人と同様、容赦のない修行をしたからこそ立派な藝も生れて來たのである。尤も藝を志す程の者なら、素人でも家業を放擲してかゝつたのであるが、今は社會情勢も違ひ、玄人の觀念も變つてゐるから、家業を打ち捨て、まで藝に熱中するなどといふ事は思ひもよらず、徒に昔を良しとする譯には行かない。然し今の素人でも藝に對する熱意には少しも變りはなからうが、大體の基本がほど完成し是から本格的な修行の段階に移らうとする、或は既に移つてからの辛棒が續かず中途で挫折してしまふのである。これは職業的でない爲、藝に對する責任觀念が薄く、従つて今一步突つ込んだ勉強が出来ず、何に自分は趣味でやつてゐるのだから仕事を打ち捨て、まで玄人の様にはやれないじやないかと云ふ様な事である。いはゆる素人藝に終つてしまふのである。そんな譯で玄人の藝は、どんな若僧でも少しは修行らしい修行をして來てゐるから、技巧といふ點では素人はその足もとへもよれない。かうした意味で玄人側の人々は、一般に素人藝をひどく見くびつて考へてゐるが、私は徒に輕視して

はならないと思つてゐる。
 玄人はその藝を客観するといふ大切な點を忘れ勝つたのである。それは頂上に早く登りつかうとする意志ばかりがあせつて、その山の姿を知らなかつたり、あたりの眺望を見る事を忘れたりするのと同じであらう。藝の根本から云へば、技巧などは末節であつて、一曲のつかみ方とか、藝の厚みとか重要な點なのである。私に云はせれば、技巧とか型とかいふものは、それは藝の基本的修行であつて、いはゞ初歩の段階でしかないのである。だから玄人がさうした末節に抱泥して進歩しないのは、要するに藝に對する反省が不足してゐるのであつて、もつと大所に目をつけなければならぬのだと思ふ。所が素人の場合は、その技藝は幼稚であつても、自然の教養が高く、同時に頃はしい末節に抱泥しない氣分本位の藝であるなどいふ良所の爲に、玄人では演じ得られない正しい解釋とか鷹揚さがあつて、その短所を補つて餘りあるものがあるのである。かくの如く素人藝の趣味性、道樂氣分といふものが案外の味を發揮するのであるから、素人は玄人の弊に墮ち入らぬやう、風格のある藝で終始してほしいものである。同時に玄人は絶えず素人になつたつもりで、良い意味での遊び氣分、趣味性について考へて行きたいものである。(演能家)

藝能人の

ページ

